

やまねっと通信 第9号

2016・1

発行: 社会福祉法人やまねっと

〒242-0028 大和市桜森3-4-2 大和泉の森作業所内 TEL 046-264-2218

ごあいさつ

理事長 山岸安志

あけましておめでとうございます。昨年は社会福祉法人やまねっとおよび各事業所にご支援ご協力いただきありがとうございます。昨年は、桜ヶ丘に新しいグループホームを作るための準備に追われましたが、今年7月に完成する見通しです。8月には入居できると思います。

昨年10月に第2次中期計画が理事会で承認されました。やまねっとの基本方針をもとに平成30年3月までの計画です。平成30年3月までにグループホームを2か所整備し、現在のやまねっとホーム林間と合わせて3か所にします。また、大和福田作業所の従たる事業所の大和のぎく作業所を29年度中には移転・独立させます。そうしたことを含めた財政計画を策定します。

障害者地域作業所からスタートしたやまねっとの年中活動の事業所は〇〇作業所という形で、作業所という名前を残しています。障がいのある人たちが働く場としてスタートしたことを忘れずにいたいからです。より多くの工賃を支払うためにはどうすべきか、作業内容の見直しを含めて、法人として全体の工賃向上会議を行い検討したいと思います。また、より良い支援ができるよう、人権を視野に入れた支援向上委員会(仮称)を設けます。

社会福祉法人に移行して3年を迎えましたが、法人運営の安定化のため次世代育成を考えた研修の体系化を図り、災害時の事業継続計画(BCP)を作成します。また、地域のみなさんとの連携や支援、協力等を視野に入れ、顔の見える地域ネットワークを形成していきたいと思っています。近年の災害や火山の噴火等を考えると、災害時における協力関係の構築と地域貢献の検討は重要です。自立支援協議会の障がい者減災対策部会や社会福祉協議会等とも連携していきます。

社会福祉法人の制度改革ということで、今国会で社会福祉法等の一部が改正され、一部が4月から実施されそうです。社会福祉法人の仲間入りをしたばかりの私たちですが、理事会や評議員会の在り方や、社会貢献事業の実施等、影響は大きいと思います。

障がいがあっても地域で認められながら、いきいきと暮らしていけるよう支援していくことが、やまねっとの使命です。ひとりひとりに寄り添い同じ方向がみられるような支援をめざします。また、職員ひとりひとりがいきいきと働けるような環境を整備していきます。そして、ご家族のみなさんはじめ地域のみなさんのご協力が得られるよう広報等で発信し、連携していきたいと思っています。本年もよろしく願いいたします。

～やまねっとの第2次中期計画が策定されました～

平成30年3月までの3年間に策定・実施をしてまいります。計画の骨子です。

利用者の目指すライフスタイルを実現する支援

- ・グループホームの整備
- ・大和のぎく作業所の移転・独立
- ・利用者の工賃アップおよび新形態作業の導入
- ・支援向上委員会(仮称)の立ち上げ
- ・在宅を支えるためのサービスの検討

法人運営の安定化

- ・財政計画の策定
- ・職員の研修体系化～次世代育成
- ・事業継続計画(BCP)の作成
- ・社会福祉法人制度改革への対応

地域ネットワークの形成

- ・自治会、地区社協、奉仕団体等との積極的関係の構築
- ・災害時における協力関係構築と、地域貢献の検討
- ・自立支援協議会への積極的提言

やまねっとコンサート開催

2015年11月14日(土)高座渋谷駅そばのIKOZAホールにてやまねっとコンサートが開催されました。



来賓の方も含め立ち見が出るほどの盛況でした。出演は「神奈川県立大和西高等学校吹奏楽部」と「純国産ボイス」に来ていただき、楽しく、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。



《大和みつば作業所》



今年度は11月26、27日・12月3、4日・7、8日の3グループ5人位に分かれて箱根に行ってきました。一日目はみかん狩りやおもちゃ博物館へ、晴天に恵まれた日もあり、海を見ながらのみかん狩りは景色も最高で、みかんの味も格別でした。彫刻の森美術館で、森の景色を見ながらランチバイキングその後散策へ。森の中にある静かなホテルでは夕食のコース料理は大変美味しく満足しました。



二日目は箱根寄木細工体験。小箱になる寄木を組み立てて、柄のシールを貼っていきます。難しい所がありましたが、お店の方に親切に教えていただいたので素敵な物が出来上がり、良いお土産になりました。



《つきみの作業所》

10月15、16日に千葉の鴨川方面へ一泊旅行に行ってきました。フェリーで東京湾を渡り、一路千葉へ。長屋門のある昔ながらの農家風のレストランで昼食を食べ鴨川シーワールドへ。シャチのダイナミックなショーに大興奮し、アシカのユニークなパフォーマンスにほのぼのとした一日目。ホテルは海が見える雰囲気の良いロケーション。海の幸をふんだんに使った食事はボリューム満点でみんな満腹に。二日目はあいにくの空模様となってしまいましたが、大きな伊勢海老の天井を美味



しく頂き、いすみ鉄道のムーミン列車に乗ってきました。雨のお陰か幻想的なムーミン谷の雰囲気も味わう事が出来て怪我の功名となりました。二日間、日頃の作業を忘れ利用者さん、職員共に大いに楽しんだつきみの作業所の一泊旅行でした。



《のぎく作業所》

今年度は日帰りバスハイクを計画し、埼玉・川越散策に行きました。事前にガイドブックで川越の名所やお土産を調べ、準備は万端!!バスでの移動ものんびりとドライブを楽しみました。川越に到着後、まずは江戸時代建造の醤油蔵がある松本醤油商店の見学をしました。お店の方から醤油の作り方を丁寧に説明していた



だき、実際に見る大きな醤油樽に圧倒されました。その後、メイン通りの川越一番街を散策し、古い街づくりを見物しながら各々お目当てのお土産を購入しました。昼食は川越名物さつま芋を使った“いも点心”をいただき、さつま芋がたっぷり入ったお料理に大満足です。たくさんのお土産と楽しい思い出を持ち帰り、無事帰路につきました。



《泉の森作業所》



2015年11月3日から1泊2日で『ぐるり周遊富士山の旅』へと出発。今年もスタートから晴天に恵まれました。1日目は富士山樹空の森でランチ。その後は日本一美しい茅葺きの集落だった西湖いやしの里根場へ散策に・・・

宿泊は、河口湖畔にある【富士レークホテル】部屋の窓から眺める景色は格別でした。夕食後、恒例のカラオケ宴会では、マイクの取り合い!

今年も大いに盛り上がりました。

2日目は、富士花鳥園を満喫しました。車窓の富士を眺めながらまかいの牧場へ。牧場鍋を食べた後、牛の乳搾りやヤギの動物ふれあい体験が楽しめました。



新成人おめでとうございます

今年成人を迎えた方をご紹介します!!

のぎく作業所
宮島 清佳さん

すすな作業所
丸山 将太さん

つきみの作業所
竹田 圭さん

つきみの作業所
比嘉 美海さん

みつば作業所
スタンレー沙優さん



清佳さん成人おめでとうございます。これからますます素敵な大人の女性になって下さい。楽しみにしています。

いつも元気で全力投球!心やさしいイケメン。成人おめでとうございます。

やりたいことは、はっきり発言の元気女子です。新成人、おめでとうございます。

いつもニコニコ。ちょっとお茶目なこだわり女子です。新成人、おめでとうございます。

みつばの先輩たちに暖かく迎えられ、休む事無くみつばに通所しています。長〜いお付き合い宜しくね!

大和さくら作業所を知ろう



大和駅と桜ヶ丘駅の間にある大和さくら作業所。

就労継続支援 B型の事業所です。



作業所の庭にある菜園



大和さくら作業所は昭和58年4月に開所して、平成8年に柳橋に移転してきました。開所前は、養護学校を卒業してから次に行く場所が見つからない。かなり厳しい時代でした。障がい者団体の連合会である「大和市中心身障者児童福祉団体連合会」が運営主体として、「18の春を泣かせるな」を合言葉に障害者地域作業所を作りました。

当時の大和さくら作業所は、民家1階を借りて10名からスタートしました。移転してからは20名定員です。

大和さくら作業所の開所時のパンフレットには「障害者の働く喜びと幸せを求めて・・・」という言葉が載っていたと思います。働くことにより収入を得る事だけではなく、良好な人間関係を作り心地よい場所である事。そして幸せってなんだろう・・・そんな思いを引き継ぎながら、現在に至っています。

現在の活動は、ほとんど軽作業ですが、月に1度は何らかのイベントを行っています。

さくら作業所の1日

①出勤

9:00~9:30に出勤します。

自力通所の方が多くですが、送迎の車で来方や、ご家族と一緒に来られる方もいます。

②朝礼

ラジオ体操をしてから、朝礼をします。



③作業

お菓子箱の組み立てや、軍手の解体（軍手を解き、糸とゴムに分ける）の仕事をしています。

自主製品として、ヤマトン缶バッジを作っています。

お菓子箱の組み立て

軍手の解体

ヤマトン缶バッジ作り



④昼食

主にお弁当屋さんの仕出し弁当を食べています。水曜日はお弁当やコンビニ、出前など、自由に好きなものを食べます。



⑤帰宅

15:30に作業が終了し、当番の人が掃除をします。

15:45 帰宅します。



今日も1日、お疲れ様でした